

自治会等の支援活動

これまで住民同士で実施していた団地内の草刈り・水まき・ゴミステーションの掃除など、高齢化が進んで人手が確保できなくなった所が多くなってきました。それを私たちが補っており、昨年度は45団体からの依頼を受けました。また神戸まつり「各区のまつり」(須磨区)を始め、自治会やマンション単位の夏祭りや餅つき大会などのイベント支援として、用具の貸し出しや応援スタッフの提供なども行っています。



神戸市委託運営管理施設 リサイクル工房あづま

神戸市からの委託事業「リサイクル工房あづま」は、ゴミの減量と資源化を推進するために設けられています。子供用品を中心に市民から受け入れ、修理・整備をして必要とする方へ提供しています。ほか神戸市が提唱する3R(リデュース「ごみそのものを減らす」、リユース「何回も繰り返し使う」、リサイクル「分別して再び資源として利用する」)推進のための資源回収コーナーや掲示板などの管理や、啓発事業として親子木工教室など、年間約10件のイベントを開催しています。(神戸市中央区吾妻通4丁目1番6号 コミスタ神戸2F)

特定非営利活動法人
神戸西助け合いネットワーク
理事長 在里 俊一

〒654-0155 神戸市須磨区西落合2丁目1-6
TEL078-795-3786
FAX078-795-4498
<http://www.kobe-tasukeai.com/>
info@kobe-tasukeai.com

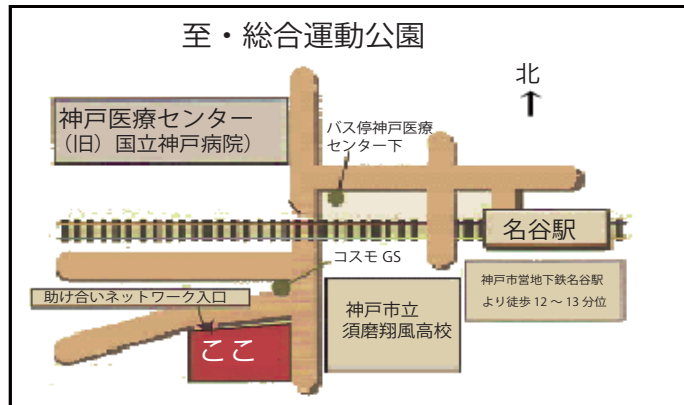
組織体制

理事長 在里 俊一 副理事長 江川 豊
理事 藤井 義隆 吉岡 良成 本岡美智子
迫田 志津子 辰巳 明久 横山 和代
山本 東司 阪本 修 勢田 裕造
監事 武貞 健治
事務局長 藤井 義隆 副事務局長 吉岡 良成
事務職員 萩尾 久江
正会員 38名 賛助会員 20名
神戸西助け合いネットワーク

- ・理事長 在里 俊一
 - ・職員 7名・ボランティア 20名
- 神戸西助け合いネットワーク 南部事務所
- ・責任者 本岡 美智子 ・職員 7名
- 介護ステーションたすけあい
- ・管理者およびサービス提供責任者 横山 和代
 - ・ヘルパー 20名
- 作業所たすけあい (就労継続支援B型事業)
- ・管理者およびサービス提供責任者 勢田 裕造
 - ・職員 3名

**できる人が
できるときに
できることを**

ボランティアスタッフ募集
経験・技能を活かしたい方
これから新たな経験を積みたい方
性別・年齢は問いません
活動可能な曜日、時間帯など
お気軽にご相談ください
※有償でのボランティア活動を基本としています。



■私たちの活動にご協力ください
ゆうちょ銀行 振替口座 00960-7-108420

【賛助金年会費】
個人会員 一口 3,000円
団体会員 一口 10,000円
(賛助金は1口以上、何口でもお受け致します)

NPO 法人 神戸西助け合いネットワーク 私たちの活動ニュース

平成27年度活動報告
第12号
平成28年7月1日
発行人：在里俊一
特定非営利法人
神戸西助け合いネットワーク

地域とともに20年

～高齢者・障がい者のご家族の安心を～

特定非営利活動法人 神戸西助け合いネットワーク 理事長 在里 俊一



平成7年の阪神淡路大震災から21年。被災者支援から始めた私たちの活動は、まちと人びとの暮らしの復興が進むにつれて、地域の高齢者や障がい者の方々の生活支援に変化してきました。同時に環境問題にも取り組み、神戸市西部では先駆けとなる太陽光発電やバイオディーゼル事業、さらに発泡スチロール容器のリサイクルも始めました。

平成23年からは介護保険事業として訪問介護ステーションをスタートさせて、地域の高齢者の支援の充実を図りました。さらに昨年6月、障がい者就労継続支援B型の事業として名谷南センターの商店街に2店舗を借り、一つをリ

サイクル品の手入れと手作り品を作る作業所に、片方の店をリサイクルショップとして活用しています。

1970年代に各地で建設された各地の“ニュータウン”は現在、いずれも高齢化が進行しており、私たちが拠点としている須磨ニュータウンも例外ではありません。

いま私たちは、活動を通じていっそう地域の高齢者の皆様とご家族に安心をお届けできる体制作りを目指しています。その一つとしてすでに好評をいただいている、日常の困りごとにお応えする「何でも110番」をさらに充実させようと考えています。そのためにより利用いただきやすいしくみとして、利用される方々をすべてを対象とする“会員制”の検討も進めています。

どうか引き続き、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

活動の概要

須磨ニュータウンを拠点として、地域の方々のさまざまな暮らしのサポートを続けて満20年を迎えることができました。

この間、さまざまな事業を展開してきましたが、やはり多くの方々にご利用いただいているのが「何でも110番」です。日常生活の小さな「困った」を解決する110番は高齢化社会を背景に、ますますニーズが増えることでしょう。さらにリサイクル事業・地球環境事業(太陽光発電・てんぷら油回収・発泡スチロール回収)・介護事業へと発展し、昨年6月には就労継続支援B型事業として「作業所たすけあい」を開設しました。



平成 27 年度の主な活動

地域の方々の生活をお手伝いする 何でも 110 番

「何でも 110 番」は、庭の剪定・草刈、家財の引取、引越し、障子・網戸の張替えの他、電球の交換、水道のパッキンの取替からペンキ塗り、家の補修まで広範囲にわたっています。最近とみに増えてきたのが、高齢者の施設入所やご家族との同居による引越しに伴う家財の処分のお手伝いで、家具類の引き取りはもとより、エアコンの取り外し作業等もお受けしています。さらに公営住宅にお住まいだった方には明け渡しの最終確認の立ち会いまで行っています。「何でも 110 番」、平成 27 年度は 500 件以上の依頼がありました。



草刈の作業前

草刈の作業後

就労継続支援 B 型事業 作業所たすけあい

平成 27 年 6 月、就労継続支援 B 型の指定を受けて神戸市須磨区竜が台の名谷南ショッピングセンター内に「作業所たすけあい」を開設しました。須磨ニュータウンでは唯一の作業所（B 型）です。B 型作業所とは、一般就労が困難な障がいの方々に生産活動の機会や就労に必要な訓練を行うとともに、生きがい作りの場となる施設です。

「作業所たすけあい」ではリサイクルショップの販売品の手入れ、アクリルたわし等自主製品



の製作、委託品の販売、堆肥袋入れ・封筒印刷・ネット販売等の請負作業を行っています。平成 28 年 5 月末日現在の利用者は 6 名ですが、定数にはまだ余裕があり入所者の募集を継続中です。

資源を大切に・有効に リサイクル

「何でも 110 番」で引き取った家具や家電製品などは大型ごみとして処分するほか、まだ使用に耐えるものはスタッフや作業所の入所者の手で丁寧に整備され、本部および「作業所たすけあい」併設のリサイクルショップの 2 か所で格安に販売しています。これらリサイクル品のうち変わったも



神戸西助け合い
ネットワークの
リサイクルショップ

作業所のリサイク ルショップ



のとして、プレハブ倉庫があり、運搬から組立まですべて私たちの手で行いました。多様・多彩なスタッフが揃う私たち神戸西・助け合いネットワークならではのことで、そのほか植木鉢や新品の食器などがたくさん揃っています。

また以前から行っている自転車のリサイクル販売も続けており、神戸市の放置自転車の入札や近隣の団地の管理組合から回収した自転車を整備し、低価格にて提供しています。リサイクル事業

全体での取り扱い件数は 27 年度で 700 件を超え、前年度の 2 倍に達しました。



太陽光発電・天ぷら油回収 発泡スチロール回収

須磨区西落合の本部太陽光発電システムは、設置から 10 年が経ちました。昨年度の総発電量は 10,567.8Kw/h に達し、その内 5,375Kw/h (129,000 円) を関電に売電しました。通算すると構内の電気使用量の 3 分の 1 が賄えたことになります。

使用済みてんぷら油を BDF (バイオディーゼル燃料) に精製して再利用する事業は、須磨ニュータウンおよび近郊の飲食店や団地内に回収箱を設置し、定期的に回収しています。総量は年間で 4,183 リットルでした。27 年度から精製器を導入しこれまで業者に依頼していた精製を独自で行っています。まだ日数が浅く具体的な数値での成果は出ていませんが、助け合いネットワークの 2 トントラックの燃料として使い始めており、廃油リサイクルと燃料費削減の一石二鳥を期待しています。

容器や梱包材などに多用されている発泡スチロールを回収し減容する業務は、平成 25 年から始めました。発泡スチロールに含まれている空気を抜くとその容積は約 2 パーセントにまで小さくなります。処理後の樹脂のかたまり (インゴット) は業者が引き取り、プラスチック原料として再利用されます。この 3 年間の総出荷量は 46.8 トン、ちなみ再処理による CO2 削減効果は 51.3 トンにも上りました。ただ昨年からのインゴット引取価格が下落したため採算性に影響を与えており、今後の課題となっています。



高齢者・障がい者の方の外出をお手伝いする 移送サービス

現在 3 台の専用車両が活躍しています。平成 23 年 4 月に高齢者介護からスタート。翌 24 年に障害者自立支援法による移動支援と介護保険法における同行援護も始め、昨年度は 420 件の利用がありました。また平成 26 年秋には「一般乗用旅客自動車運送事業」の認可を受けて介護タクシー事業に着手し、27 年度「神戸市重度心身障害者タクシー利用券」の利用件数は 138 枚でした。



介護サービス

「介護ステーションたすけあい」は平成 23 年にスタートし、順調に進んでいます。拠点を垂水区名谷町向井畑に置き、訪問介護を中心に主に垂水区・須磨区で活動を続けています。利用者数は 25 名で 20 名のヘルパーが従事しています。また車イスや介護用ベッドなど福祉用具販売・レンタル、および移送サービスもここを拠点としています。

